

子育ての悩みに寄り添う絵本

子育てと絵本 vol.40

こんな時こんな絵本 その12「失敗ばかり、大丈夫かなあ」

失敗が成長につながるってわかっているけど、こんなに失敗ばかりで大丈夫かなあ。子どもも恥ずかしがったり、イライラして人や物に当たったり、メンタルも心配。

子どもが何かに集中して取り組む姿勢は見ていてうれしくなります。一生懸命挑戦している姿は応援してあげたいですね。それでも思い通りにいかないことはたくさんあります。子どもの思いを尊重し、子どもの気持ちに寄り添いたいものです。

絵本「ぼちぼちいこか」。ぼく、しょうぼうしになれるやろか。なれへんかったわ。ふなのりは、どうやろか。どうも こうも あらへん。—いろいろ挑戦するけれどうまくいかないカバくん。それでもまた挑戦。ええことを思いつくまでちょっとひと休み。人生を「自分らしく、せかせかせず、そしてやっぱり一番は、楽しく過ごすぞ!」と、やさしく後押ししてくれる絵本です。

「大ピンチずかん」。ぎゅうにゅうが こぼれた。これが大ピンチだ。どのくらいの大ピンチ? —小学生にも人気の絵本。子ども大人も「あるある、わかるわ、こんなことをするのは自分だけじゃないんだ」と何か安心。絵本の中のピンチに共感できドキドキ感や伝わるけれどクスツと笑える。ピンチってたくさんあるんだね。2巻3巻とまだまだ続きます。

「失敗は成功のもと」「失敗とは転ぶことではなく、そのまま起き上がらないことである」などのことわざや名言もあります。子どもの日々の行動に失敗という言葉は当てはまりません。全てが大切な経験です。思い通りにはいかなかったけど、その中で少しでもできたことを、まずは周りが認めてあげたいものですね。

運動機能は、転びそうになる動きやバランスをとる動きなどさまざまな体験で、安定した動作ができる

ようになります。多様な動きの積み重ねでうまく体を動かすことができるようになります。遊びの中で体を動かしてたくさんの体験をさせてあげましょう。

今回ご紹介する絵本



ぼちぼちいこか

作 マイク・セイラー
絵 ロバート・グロスマン
訳 今江 祥智 偕成社



大ピンチずかん

作 鈴木 のりたけ
小学館

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。朗読指導者(公財 文字・活字文化推進機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター